

【from Kpbe 2月】 節分の時節 気になったあれこれ情報 2012.2.1.

春遠からじといえども、各地では大雪の便り。まだまだ寒い2月が始まりました。

いかがでしょうか・・・

神戸の街は神戸の街は春節を向かえ 華やいだ雰囲気

また、寒い早朝の門先を元気な子供たちが白い息を吐きながら、駆け抜けてゆきます。

また、庭には一輪 また一輪と春の花が咲き出し、いよいよ春まじかです。



1. 暗い話が多い中 元気出して 前をむかへば・・・と気持ちを奮い立たせています。

2011 年日本列島考古学新発見トピックスの記事紹介

& 東北人間復興の支えとして 東北の文化財・博物館の復興にも眼をむけよう

2. あまりにもスピードの速い情報機器の変遷 知らない人を置いてゆく・・・

黙ってその利を独り占めする & 享受したいサービスもある

3 google gmail アドレス取得すると使いやすいメーラーに

2つ以上の使い分けメールアドレスを集め、元のメールアドレスでそのままの発信もできる便利さ

【おまけ】 「節分の鬼」 From Kobe 2008 年2月 「節分の鬼」

<http://www.infokkna.com/ironroad/2008htm/walk5/0802oni00.htm>

節分の鬼について 「和鉄の道」で何度か取り上げています。

そのいくつかを資料に取りまとめています。

1. 日本人の祖先の一部 節分の「鬼」

2. 和鉄の道 Iron Road 日本各地 鬼伝説が残っている例



神戸 中山手の関帝廟 2012.1.25.

春節が始まった1月25日 「神戸に住んで30年を超えるが、一度も関帝廟に行ったことがない」と家内が言う。

関帝廟から南京町の春節を見に行きました。

関帝廟はひっそり静か。

南京町は春節祭でにぎやか。

このコントラストもおもしろい。

南京町で久しぶりに 中国雑技団のアクロバチックな演技を見たのも本当に久しぶり。

神戸の春迎えの行事です



高い一輪車の上 足で3個のワンを蹴上げ 頭の上ですっぽり収める演技 実に見事 2011.1.25. 南京町で

1. 2011年日本列島考古学新発見トピックスの記事紹介 &

東北人間復興の支えとして 東北の文化財・博物館の復興にも眼をむけよう

毎年6月 東京を皮切りに 前年の日本列島考古学新発見展が行われるのですが、それに先立って 昨年暮れ 朝日新聞に2011年日本列島の各地の考古学の新発見のレビューが掲載された。

昨年は東日本大震災による大津波から、過去の葬り去られてきた大津波の記録・痕跡が大きく注目を集めた。

考古学調査で明らかにされている大津波の痕跡の事実としての重要性が認識され、今後の防災に大きな役割を果たすだろう。

一方 ここ最近 邪馬台国の有力候補地として注目を集めてきた奈良纏向遺跡周辺も その確証はみつかっていない。

また、毎年 気になる古代の製鉄遺跡の発掘も特に記載されておらず、総じて 昨年は話題が沸騰する新発見は特になく静かな一年といえる。

私にとっては 奈良盆地の南端 御所市で出土した弥生時代前期の広大な水田跡中西遺跡の出土が一番の驚き。

専門家はどうか評価されるのかわかりませんが、水田稲作が伝わった早くから奈良盆地に広がる広大な計画的な水田跡は早くから大穀倉地帯として大和が栄え、大和が日本誕生の中心となつてゆく力の源泉であったのではないかと・・・と。

長年の疑問を解く鍵が得られたと思っています。

また、一番気になるのは 東日本大震災で大きな被害を受けた郷土考古館・博物館の修復。これらは 地味ではあるが、郷土の歴史を物語る事が出来る貴重な場所。

東北の人々の拠り所 文化・祭りの中心として神社・寺とともに 郷土復興の中心を担ってほしい。 人の復興が叫ばれる昨今 郷土復興が薄っぺらなものにならぬよう願っている。



2. あまりにもスピードの速い情報機器の変遷 知らない人を置いてゆく・・・

黙ってその利を独り占めする & 享受したいサービスもある

つい先日 スマートフォンの急激な伸びにドコモ携帯電話の通信基地機能が麻痺して通信不能になった

ドコモいわく「スマートフォンの普及がつくる通信量のあまりにも大きな増加が想定外だった。これから 1500 億円を超える投資をして 対応する」と。

通信サービス・スマートフォンを売る会社がその通信量を想定外という。これ、東電の話と一緒に。

すでに 何度も地域緊急時に通信パンクしているではないか・・・やるべき投資をせず、収益性競争にまい進していることを浮き彫りに・・・

アプリ、知らぬ間の通信 スマホ急増でデータ増え続け

大規模な通信障害のしくみ
スマートフォン
従来の携帯電話

携帯電話からメールやネットが接続できない。通話もできないー昨年から続いたNTTドコモの大規模な通信障害。その背景には、スマートフォン(多機能携帯電話)の大容量通信が制御しにくいという問題があった。従来の携帯網に比べてスマホ対策は格段に難しく、各社は苦心している。

ドコモが一連の通信障害の「犯人」として割り切ったのは、意外にもスマホが通信設備とやりとりする制御信号だった。

スマホは、端末がネットに接続したり、切断了りする際に制御信号を送受信する。ドコモによると、同社で主流のスマホのOS(制御システム)「アンドロイド」を搭載した端末の場合、通常の状態では28分に1度、やりとりする。

落とし穴は、人とのコミュニケーションをとるために使う「アプリ」(応用ソフト)にあった。アプリは、スマホとは別に、3〜5分おきに頻繁な制御信号をやりとりする。これが想定以上にデータを増やし、データを処理する「パケット交換機」の処理能力を超えそうになって、ネットワークに自動規制がかかったというのだ。

利用者が画像や音楽を楽しむ通信量が大容量の場合は、通信速度が遅くなるなどのゆるやかな規制がかかるが、制御信号の場合は、信号の自動送信をコントロールできず、一気に通信が集中するのだ。

「申し訳なかったが、(データ量を)つかめなかったというはある」

ドコモの山田隆持社長は27日午後、開いた記者会見で、スマホのデータ通信の中身を十分把握できていなかったと釈明した。

携帯電話の契約と初期設定 説明不足による収益を計算したら いくらになるのだろうか・・・
聞いてみると みんな機器の進歩による高精細画像「写メール」の送信で びっくりする
携帯電話通信量請求の痛い目に会った経験があるという。

あるパソコン雑誌を読んでいると

「今 インターネットや電話そしてデジタルTVの契約を
よくチェックして見直さないと大きな損をしている」と。
競争の中で、新しいサービスが次々とでて、
じっと昔のままの契約でいると大損になっていると。

光ファイバー・ADSL・ケーブルの通信回線に 固定電話会社と携帯電話会社が乗っかり
その孫にプロバイダーが乗っかる3重構造のインターネット・通信・携帯電話ビジネス。
それぞれが 新規契約を絡めて 契約競争を激化している。その内容は我々にはほとんど見えず、相手の進めるまま。
この競争の中で次々 新サービスが生まれ、安価な契約がすすんでいる・・・と。

具体的事例に私の契約が入っていて びっくり。

飛びついたら 違約金/解約料 ほっておくといつまでも高い料金を払い続けているとないしたらええねんと・・・・。
コンピュータを使った毎月の料金表 事細かく何に幾らかかったかが書かれている。電話会社・通信会社我がひよいとプログラ
ムを改良すれば、今一番安い料金体系は何か 料金表にアドバイスを書けるはず。
黙り込んで 得ている利益はかなりのものだろう。

以上 通信がらみの私には不明朗と映る通信・エレクトロニクスがらみの話。こんなことから黙りこくっている会社
が日本の優良会社 日本の未来を担う会社の一角なのである。考え込んでしまう事例である。

でも 携帯端末と通信・PCの融合したスマートフォンは ますますその便利機能を高め、この高齢化社会の中、高齢者ほど必
要な地域・家族・仲間とつながるコミュニケーションツールになりつつある。

ある程度の扱いを知っておかないと取り残されてしまうのも事実である。



1. google gmail アドレス取得すると使いやすいメーラーに

2つ以上の使い分けメールアドレスを集め、元のメールアドレスでそのままの発信もできる便利さ



最近 google の gmail アドレスから メールを貰うことが多くなった。

無料でメールアドレスもらえるにしろ、何でいまさら メールアドレスを変えるのだろうかと思議に思っていました。

ふっと 気になって インターネットの google gmail サイトにアクセスしてびっくりしました。

なんと gmail address を取得すると インターネットの自分の gmail サイトに簡単な設定だけで、
他のメールアドレスに送られたメールを集められる。しかも それらの元の自分のメールアドレス名でメールを送ったり、
gmail アドレスでメールを送る選択が出来るのです。

また、受信メール箱の容量は大きく読んだメールの削除は必要なく、送信するメールの大きさも
制限を受けない。 しかも 受信箱を開けるのもインターネットに接続するだけの簡単さ。

そんなに うまいこと行くのかと半信半疑で gmail アドレスを取得して、使い分けていたメールアドレス分のメールをここ
に集めましたが、その便利さにびっくり。今までのメールアドレスに変えて gmail address を使うのはこれだなあ・・・・
と判った次第。今のところ これといった問題なし。

2つ以上のメールアドレスを使い分けている人には 本当に便利で、使いやすいメーラーです。

2012. 1. 30. by Mutsu Nakanashi

【おまけ】 「節分の鬼」 From Kobe 2008 年2月 「節分の鬼」

<http://www.infokkna.com/ironroad/2008htm/walk5/0802oni00.htm>

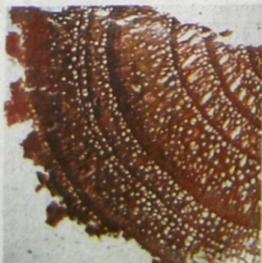
節分の鬼について 「和鉄の道」で何度か取り上げています。 そのいくつかを資料に取りまとめています。

1. 日本人の祖先の一部 節分の「鬼」 2. 和鉄の道 Iron Road 日本各地 鬼伝説が残っている例

文化

2011年の考古学

海から陸から発見相次ぐ



世界最古と判明した鳥貝貝殻 (福井県のウラ) 東北大提供

今年、考古学で最も注目を集めたのは、長崎県松浦市の鷹島沖に沈む13世紀の元寇船の発見といえる。教科書でも有名な元寇船の構造がわかる形で、船体が確認されたのは初めてだったからだ。

鷹島沖には、文永・弘安の役(1274、81年)で、元寇船約4400隻の大半が暴風雨で沈没したとされる海域。水深20~25mの海底で厚さ1cmの泥を取り除いたところ、船底に骨骨のように伸びる長さ15cm、太さ5cmの部材(手し)が現れた。

船体引き揚げを専門家の声もあるが、調査手しは引き揚げは当面せず、現場を網で覆うなどの保護策を講じる。滋賀県の琵琶湖底や石川県・能登半島などで「水中考古学」による調査が進んでおり、元寇船の確認はこうした研究へのはずみになりそうだった。



長崎県の鷹島沖で確認された元寇船の一部(琉球大提供)

津波記録の古文書にも注目

一方、考古学の範囲で昨年盛り上がる奈良県内は比較的静かな1年だった。それでも、奈良県が誇る伝説的巨匠の有力候補地とされる桜井市の御田遺跡(古墳系)で、世紀初めでは語り継がれた。1月に約10種類の魚や動物の骨、約10種類の植物の葉が出土。4月には全国最大といわれる、世紀後半以降の遺跡の発掘も、調査者らに驚かされる見通しで、遺構が立ち上がる。遺跡跡が、同県御田市の妻の成果があった。ヤマト政権が墳墓を築き、御田に生息する鳥から佐紀郡前石川群へと移す。世紀後半以降に存在した古墳遺跡で、古墳時代前期の古墳区画群が確認された。祭祀用とみられる特殊な構造の遺構が、なかまのり後の分館で独立した遺構だったことが

巨大地震が東日本を襲った2011年。阪神大震災(6年ではいしえの地震跡を見つければ地質考古学が)風光を呼び、今回は大津波なら遺跡の災害を克服する古文書が注目された。人類の未来を築くための歴史研究とこれに貢献する考古学上の発見が、今年も各地で相次いだ。

長崎 沈没の元寇船 ■ 奈良 縄文クワガタ

日本最古とみられる茅原大墓古墳(奈良県)の人物埴輪



秋津遺跡(奈良県)出土のノコギリクワガタ

判明した。さらに、縄文晩期後半(3800~3600年前)のノコギリクワガタはほぼ完全形で出土。同時期のヒスイ製玉も見つかった。同市の中西遺跡では、弥生時代前期では国内最大とされる約2万平方メートルに及ぶ水田跡が現れた。四方をあきで区切られた約20枚の田が連なる光景は壮観だった。

戦国時代の話も多。織田信長が築いた小牧山城(愛知県小牧市)で、本丸部分から「佐久間」の3文字が墨で書かれた石垣の石材が出土した。城郭の石垣遺構としては国内最古。京都府長岡京市では、その信長を討った明智秀吉が羽柴(豊臣)秀吉と対峙した「山崎の合戦」時の大規模な堀跡が見つかった。奈良県磯原市の今井町では、16世紀後半ごろの跡の一部が発掘された。堺と並ぶ商業都市として栄えた今井町が、敵対する信長との和睦条件として埋められた遺構とみられる。

「受難」の遺跡もあった。石室の幾何学文様を施した切り石(石垣)の劣化が進んでいた阿山市の平足古墳(国史跡)で6月、保存のため一部解体が決定。12月に石壁が取り外され、石室外の保存施設に搬出された。保存修復の方法が今後、検討される。

最大の懸案は、東日本大震災の復興で佳良の移転先となる高台での発掘作業だ。三陸地方など沿岸の高台には貝塚や遺跡が点在し、遺跡の緊急発掘が急務だが、重要な遺構だと調査に10年はかかる。文化庁は9月、調査期間短縮のため、各都道府県に専門職員を現地派遣を要請した。東北からの発掘情報にも目が離さない。(大塚明)

角縁神獸鏡(直径22.5cm)が出土。「三角縁神獸鏡」が出土。中国神作四神二獸鏡で、漢文35文字の刻銘が、中国神話の西王母や東王父、仙人、竜虎が描かれていて、西暦250~280年ごろの中国製か。四国最大。石室を持つ香川県観音寺市の樹塚古墳(円墳、6世紀後半)で、二重の周溝が見つかる。奈良県御所市の中西遺跡で、弥生時代前期では国内最大の水田跡が見つかる。奈良県磯原市の今井町で16世紀後半ごろの跡の一部を発掘。織田信長との和睦で埋められた跡か。

平安貴族の屋敷跡が京都市中京区の佛光寺太子ハバチ予定地で見つかる。「三条院約600年」と記された墨書土器が出土。石大目・藤原良相の邸宅か。千足古墳(国史跡)で、石室の畿内学文様を施した石垣の取り外し。京都市最北部の志古淵神社(左京区)で、平安時代後期の「平治元年」と記された木造の五輪塔を確認。平安が有る現存のものでは国内最古。奈良県原市で古代の理とみられる遺構が見つかる。日本本書紀や万葉集に登場する灯の池「磨余池」の可能性が指摘されている。

遺構を確認。キトラ古墳(奈良県明日香村)で彫彩色石壁画が描かれた石室を組み立てる際に石工が石材に引いた「朱線」を新たに14本発見。7月、青森市の三内丸山遺跡で出土した縄文中期(4300年前)の土器片に人物が描かれていたことが判明。シヤーマンの最古例か。奈良市の唐招提寺で、奈良時代前期の築地跡を確認。天武天皇の子の新田部親王宅か。滋賀県高島市の天神畑遺跡で、鎌倉武士の馬具とみられる全国初の鉄製の鞍が出土。奈良・藤原氏の瓦を築いたとみられる京都市山崎町の上北遺跡(大津市)で、奈良時代の蒸気京師の木簡が出土。明初期の本格的な洋風建築で、1945年の大阪大空襲で壊された旧大阪府庁舎(江之子島庁舎)の基礎が大阪市西区で発掘。奈良県御所市の秋津遺跡で、縄文時代晩期後半(2500~2800年前)のヒスイ製管玉が出土。長さ約4cm、重さ22g。縄文晩期では国内最大級。

3世紀後半以降の建物跡とみられる柱穴列を発掘。初期大和王権の中心的建物か。大坂城跡(大阪府中央区)の南側から、大規模な築造工房跡6基が出土。「大坂夏の陣」(1615年)を前に豊臣方が軍事的に利用した可能性も。

5月、大阪府東大阪、八尾市の池島・福万寺遺跡で、15年前に見つかった鳥の足跡が弥生時代前期のコウトリの足跡と確認。これまでは国内最古例(6世紀)より約900年古い。縄文時代晩期後半のノコギリクワガタが、奈良県磯原市の秋津遺跡からほぼ完全形で出土。奈良県三郷町の勢野東遺跡で、縄文時代前期(約1万5千年前)の石磨加工場跡が見つかる。

6月、滋賀県栗東市の下野遺跡から、古墳時代初期(3世紀)の埴の一部分が出土。全国5番目の大きさ。織田信長が築いた小牧山城(愛知県小牧市)の本丸部分から、埴の文字が書かれた日本最古の石垣の石材が出土。奈良県桜井市の桜井茶臼山古墳(3世紀末~4世紀初め)の後円部にある竪穴式石室の東側と北側で、別の石室状

1月、奈良県桜井市の纏向遺跡(2世紀末~4世紀初め)で、約10種類の魚や動物の骨、約70種類の植物の葉が出土。

2月、京都府木津川市の馬場南遺跡で、木造の塔を支える礎石を発掘。屋外の木造層塔で国内最小。三雲県佐倉市の高岡新山遺跡出土の威骨器(8世紀後半)から、ハグチヨウウの翼の骨を発見。奈良県桜井市の茅原大墓古墳(国史跡)で、奈良時代中期初め(4世紀初め)の武人の埴輪を発掘。人物埴輪の最古例か。

3月、奈良市の平城宮跡(8世紀、特別史跡)の朱雀門南東で、最大級の井戸跡を発掘。井戸枠の下部分から、鳳凰の六角形で、朱雀門前の儀式用か。奈良市内の病院敷地で、古墳時代後期(6世紀後半~7世紀中頃)の陶棺2点が見つかる。完全形で出土。大和朝廷で埴輪作りをした土師一族の夫婦または兄弟姉妹の墓か。

4月、纏向遺跡で確認された大型建物跡の東側か。

8月、明智光秀と織田秀吉が戦った「山崎の合戦」

8月、明智光秀と織田秀吉が戦った「山崎の合戦」

8月、明智光秀と織田秀吉が戦った「山崎の合戦」

From Kobe 2008年2月 日本人の祖先の一部 節分の「鬼」

2008. 2. 3. by Mutsu Nakanishi

2月になって、寒い日が続いています。

新しい年になって あっという間に2月です。 1月は「穴熊」 今年の抱負・目標は・・・?? など聞かれることもないままに、冬眠。 そろそろ 動かないとと・・・。

暗い話ばかりでいやな時節ですが、今年も精一杯「動 ただひたすらに」 これしかないなあ・・・と。

2月3日は節分。この時節になると「鬼」の話が話題になる。

「鬼」というと日本各地には「鬼伝承・伝説」があって、「いい鬼」・「悪い鬼」が話題になる。

今日もラジオでは 節分で豆をまくのに「福は内 鬼も内」と豆をまく里を紹介しています。

この「鬼」とは何者なのか 「鬼」の名前には、かつて「製鉄」の集団と関連したところが多く、「鉄」の生産活動が、周囲に数々の文化を伝え、生活環境を変えていったため、「いい鬼」「悪い鬼」がおり、また、その地の「開拓神」として、祭られることもあり、数々の伝承・伝説とともに日本各地に「鬼」の名前のつく土地・山が残る。

幾度となく訪れた東北の各地で、東北の人たちの蝦夷と呼ばれた時代の人たちへの強い愛着と近親感に新鮮と驚きで強烈な印象を受けたことがあり、この時期「鬼」の話になるといつも気になるのが、東北の「鬼」。

新しい年になって「今年は・・・」と自分を省みる時期とも重なって 毎年 この「鬼」について、思いをはせる。

そんな折、今年1月10日 朝日新聞に「祖先たる『蛮族』蝦夷」と題して、「古代東北の「蝦夷」と呼ばれた人々が異民族でなく、日本人の祖先であるとわたしたちを呼び起こす」記事が出たのをみましたので、あわせて紹介。

坂上田村麻呂と蝦夷の族長「アテルイ」



青森の岩木山(巖鬼山)の山麓にある鬼沢集落は「鬼の里」を名乗り、鬼神社を祭り、

「鬼の里 鬼沢」のねぶたが弘前の街を行く。

また、東北の背骨奥羽山脈は「北上(日高見)の鬼」と呼ばれる「蝦夷の族長 アテルイ」の領地。

ここでは、自分たちのルーツとして 連帯・近親感を持って、熱く熱く語られる。

岩手県民総参加で創られた長編アニメ映画「アテルイ」では「アテルイは親・兄弟を愛し、美しい自然を愛すために生きた。

21世紀の人間がどう生きるかという大切なメッセージがある」とメッセージを送り、
北上市の市民憲章には「あの高嶺 鬼住む誇り 音の瀬音 久遠の賛歌 この大地 燃え立つ命 ここは北上」と歌う。

関西や西日本の「鬼」 丹後大江山・鳥取大山(伯耆溝口)・岡山吉備 鬼ヶ城の鬼 等々退治される鬼とは対照的である。
冷静に考えてみれば、この「鬼」 関西人の僕らにとっても 同じルーツ・仲間なのです。

どうも 都に近いところで育ったものと地方の人たちの意識の違いの大きさに戸惑いを覚えたことがありました。

今の「東京・大阪」と「地方」の違い そっくりそのままではないでしょうか・・・。

若者と年寄り 大企業と中小企業の構図も。

中央一辺倒の流れが続く今、地方に目を向け、目を凝らさないとこの意識の違いや全体が見えないのでは・・・

切捨ては 効率で かっこよく写るのですが、 必ず 行き着く先は 行き詰まること歴史が示している・・・。

あまりにも悲観的なのですが、その貧乏くじをひくのも・・・。

その時 自分の身に起こるまで気がつかぬのでは、あまりにもさびしい。

全体を揺るがす逆風を経験したことのない日本の中央では 足元が見えず、しかも、リーダーお任せの無責任な時代 ちょっとは 地方の意識にも 耳を傾けないと 自分の足元がぐらついていることに気がつかない。

年が変わり、節分の時節「鬼」が話題になるといつも 東北の「鬼」を思い出しながら、自分を振り返りつつ、こんなことが気になります。

また、中央の論理で議論されている道州制が 東北では 仙台へ向かう東北各地からのきめ細かい高速バスネットワークを始め、東京に向かうのではなく、仙台を東北の中核都市とした人・物の動きが大きな流れとなって進行しているという。同じ 流れは 西の福岡でも始まったと・・・。

中央では見えぬ21世紀の新しい胎動が始まっている。これは 中央が動いても もう つぶれない流れ。

何でも東京 そして 関西ではないし、すでにその間に 名古屋が割って入り、仙台・福岡で新しい動き。

おりしも、人の意識はすでにインターナショナルな日とも急激に増加。

TV・映画では 僕らはまだ外人と思っている人が、日本語をしゃべり、若い人たちはコスモポリタンに。

古代に起こった新しい国づくりの胎動が 今 21世紀の胎動が起こっている。

本当に 地球に優しい 地球人の時代が来るように

ヨーロッパも、日本と同じかと思いましたが、そうでもなく、ゆったりとした時間が街に流れている。

アメリカだって、救いはある。ゆるやかに 大河が流れるように 地道に時代が流れていると感じました。

「ただひたすら 動」

もっとも 好き勝手に 思いつくまま 気の向くまま かもしれませんが・・・

節分の「鬼」に思いを寄せながら・・・

2008. 2. 3. Mutsu Nakanishi

和鉄の道 Iron Road 【2】製鉄遺跡探訪 2001 & 2002 上

10. 日本各地の鬼伝説 鬼伝承の鬼は本当に悪者か??? 2003. 2. 3.

和鉄の道 Iron Road 【1】製鉄遺跡探訪 1995. 10. -2000. 5

8. 弘前ねぶたと岩木山北麓 鬼伝説の里 鬼沢 鬼神社・十腰内 巖鬼山神社を訪ねて 2000. 8. 4.

和鉄の道 Iron Road 【4】製鉄遺跡探訪 2004

6. 蝦夷の鉄・東北 和鉄の道 東北地方 和鉄の道 9編 取りまとめ 2004. 1. 18.

和鉄の道 Iron Road 【6】たたら遺跡探訪 2006

3. 蝦夷の雄「アテルイ」の足跡 「清水寺・将軍塚」 2006. 2. 9.

日本各地の鬼伝説 リスト

- | | |
|-----------------------|-------------|
| 1. 伯耆国 孝謙天皇 鬼退治伝説 | 鳥取県 溝口町 |
| 日野川流域 楽楽福神社の伝承 | |
| 2. 北上の鬼 蝦夷の雄「アテルイ」 | 岩手県一関・胆沢 |
| 坂上田村麻呂の蝦夷征伐 | |
| 3. 丹後国 大江山酒天童子伝承 | 京都府 大江町 |
| 4. 吉備国 「桃太郎伝説」の鬼ヶ城 | 岡山県総社市 |
| 5. 青森県 岩木山(巖鬼山)山麓の鬼伝説 | 青森県弘前市・鱒ヶ沢市 |

青森 岩木山(巖鬼山)山麓 鬼の里「鬼沢」



津軽 岩木山麓 鬼沢に伝わる「鬼伝説」

青森県 弘前市 鬼沢

昔々このあたりはやせた荒地で、作物の実りはきわめて悪かった。そこへ、岩木山の赤倉から下りてきたという鬼が現れ、せせせとこの荒地を耕し始めた。村人達は、これを見て、ただの鬼ではないと思い、開墾の困難と農業用水の必要を鬼に訴えた。すると鬼は、それでは力を貸そうと言ったきり、姿を消してしまった。翌朝になって村人たちが行ってみると荒地には、一筋の水の流れが勢いよくほとぼしっているではないか。村人たちは、さっそくその水を田に引き、以後、その水は干ばつの時も決して枯れることはなかったという。村人たちは、非常に喜んで、鬼に感謝するため、神社を建立して「鬼神社」と名づけ、村の名前も「鬼沢」としたという



【鬼神社 社殿正面に掲げられた農機具の献額】

北上(日高見)の『鬼』・蝦夷の族長「アテルイ」



岩手県北上市の市民憲章には
 「あの高嶺 鬼住む誇り その瀬音 久遠の賛歌
 この大地 燃えたついのち ここは北上」
 と誇らしく歌う
 この「鬼」とは古代「日高見(北上)川」沿いのこの地に
 住んだ自分たちの祖先 蝦夷の族長 日高見の鬼「アテルイ」
 とその一族 蝦夷 を指す



今から約 1200 年前 奈良時代の末期から平安時代初期にかけて坂上田村麻呂を征夷大将軍とした蝦夷征伐があった。
 坂上田村麻呂がでるまで、朝廷が苦しめられ続けた蝦夷の族長が「アテルイ」
 この蝦夷征伐のもうひとつの側面は今まで輸入に頼っていた「金やくろがね」がこの蝦夷の支配地ですることによる鉱物資源の支配
 朝廷の蝦夷征伐の大軍を苦しめぬいた蝦夷の族長がアテルイ。
 蝦夷の心情に共感しつつも戦わねばならなかった征夷大将軍坂上田村麻呂
 長年にわたる戦争の中で、アテルイは蝦夷の和平を願い、盟友・モレと約500人の兵とともに田村麻呂に降伏。
 坂上田村麻呂の「蝦夷支配に活用できる人材」と助命嘆願もむなしく、アテルイは河内国で斬首。





大日堂とその寺域の中にある將軍塚 2006.2.9

「アテルイは親、兄弟を愛し、美しい自然を愛すために生きた。
21世紀の人間がどう生きるかという大切なメッセージがある」
と東北の人達はメッセージを送る。

【参考】

巨大勢力となった寺から逃れる為、奈良平城京から平安京へ遷都されたこの時代。東寺・西寺しか許されなかった平安京に蝦夷の制圧に成功した坂上田村麻呂は国家加護の道場として清水寺の建立を許されている。

東北にある蝦夷の勢力の強さがこのことから推察される。

また、坂上田村麻呂の頭の中に蝦夷の族長「アテルイ」への思いがあったかも知れぬ。その背後の東山 坂上田村麻呂が葬られた地には「將軍塚」の名前が今も残されている。東北の地にも、大將軍 將軍通りなどの地名が今も残る。



清水寺 南の谷に面する清水の舞台下の丘にある アテルイ・モシの猫影碑



福島県 沼原(ぬまっぱら)揚水発電所 上池貯水池 と 沼原湿原



大江山



安達太良連峰 鬼面山 新野地温泉より



55°Cの含鉄泉 赤



孝靈天皇 鬼伝説 伯耆 溝口

—奈良福神社 古文書より—

伯耆の国日野郡溝口村の鬼住山に悪い鬼が沢山住み着いていました。この鬼達は近くの村々に出ては人をさらったり、金や宝物・食べ物を奪って人々を苦しめていました。これを聞いた孝靈天皇は、みずから軍勢を率いて鬼住山の南のこれより少し高い笹倉山(さすとさん)に登り、鬼住山の鬼達をことごとく退治されました。天皇が山に登り、布陣された時、人々は笹倉の団子を献上し、士気が大いに上がったといいます。それで、この山を笹倉山(さすとさん)と呼ぶようになりました。鬼をおびき出す為、山麓の赤坂というところに団子を三つ並べたところ、弟の鬼『乙牛鬚』が出てきて討たれました。兄の『大牛鬚』は大いに怒り、手下を束ね一層暴れ、容易に退治することが出来ません。ある晩 眠っている天皇に「笹の葉を刈って山のように積上げなさい。そうすると風が吹いてそれらを舞い上げ、鬼を連れ退治出来るでしょう」とのお告げがあった。これを聞いた天皇がその通りにすると三日目の朝、猛烈な南風が吹き、積上げた笹を「あれよあれよ」と鬼の住処の方へ、巻き上げて行きました。天皇はここぞとばかり、全軍を叱咤して、舞いあがった笹の葉を追い、鬼退治に向かいました。笹の葉に巻きつかれ、また枯葉が燃え、鬼達はなすすべも無く、麓に逃げて降参しました。人々は大家言いで 麓宮原の地に笹で社殿を吹き天皇を祭りました。これが奈良福(ささふく)神社のいわれです。

